

日本光学会第 191 回幹事会議事録

日 時： 2010 年 9 月 24 日(金) 13:30~17:00

場 所： 応用物理学会 6 階会議室

参加者： 武田幹事長, 他 26 名

議 事：

1. 第 1 回常任幹事会議事録の確認

- ・全会一致で承認された。

2. 報告事項

2-1. 「光学」関連報告

(1) 「光学」編集報告

- ・予算削減の試行中であり, 現在のところ執行率は予算を下回っているとの報告があった。

2-2. 「OPTICAL REVIEW」関連報告

(1) 「OPTICAL REVIEW」編集報告

- ・現在特集号の編集集中であると報告された。

(2) 「OPTICAL REVIEW」出版報告

- ・オンラインサイトライセンス新規登録申請が 1 件あり(大阪電気通信大学), 現在登録作業中であると報告があった。
- ・ウェブアクセスが減少傾向にあることが報告された。

2-3. 講演会関連報告

(1) Optics & Photonics Japan 2010 (2010. 11/8-10) 進捗報告

- ・一般講演の申し込みが 260 件程度になったと報告があった。
- ・PDP (ポストデッドラインペーパー) の申し込みは 2010 年 10 月 15 日(金) までであることが報告された。

(2) カラーフォーラムジャパン 2010

- ・2009 年度は最終赤字だったが, 超過分を連企画剰余金より補填することが報告された。
- ・2010 年の公式な開催は休会とし, 2011 年度以降の開催に向けた準備を行うことが報告された。

(3) 第 35 回光学シンポジウム収支報告

- ・2010/7/8 (木), 9 (金) に開催され, 黒字であったと報告された。

(4) 第 36 回光学シンポジウム進捗報告

- ・2011/7/7 (木), 8 (金) に東京大学生産技術コンベンションホールで開催予定であることが報告された。
- ・開催に伴い, ①日本光学会 HP の使用許可, ②光学シンポジウム用の E-mail アドレス 3 つ取得, ③学会 ML の使用許可, の 3 項目が承認された。

- ・日本光学会に対して, 副実行委員長, 会計幹事の早期推薦が依頼された。

(5) 第 37 回冬期講習会進捗報告

- ・2011/1/20 (木), 21 (金) に開催されることが報告された。

(6) 平成 22 年度名古屋講演会進捗報告

- ・2010/10/29 (金) に静岡大学にて開催予定であることが報告された。

(7) 平成 22 年度北海道地区学術講演会進捗報告

- ・2011/1/7 (金), 8 (土) に室蘭工業大学で開催予定であることが報告された。

(8) 北陸信越講演会

- ・2010/11/5 (金) に新潟大学で開催予定であることが報告された。

(9) 第 6 回光応用新産業創出フォーラム進捗報告

- ・2011/2/24 (木) に慶応義塾大学三田キャンパスにて開催予定であることが報告された。

(10) 中国四国支部講演会

- ・本年度から開催することが決定されたと報告があった。
- ・本年度は日本光学会会員を講師とする内容で企画することが了承された。
- ・今後は応用物理学会中国四国支部学術講演会との合同開催について検討を進めることが承認された。

2-4. その他報告事項

(1) 協賛依頼について

- ・12 件すべてが協賛承認済みになったことが報告された。

(2) 会員動静について

- ・会員数が微増していることが報告された。

(3) 収支計算書について

- ・年初から 8 月までの間, 黒字状態であることが報告された。

(4) 日本光学会ホームページについて

- ・ウェブアクセス数は夏休みに入った 8 月に減少傾向であり, それに伴いバナー広告アクセスも減ったことが報告された。
- ・アクセスランキングの上位 10 位の項目に変化はないが, OPJ 2010 へのアクセス数が増えていることが報告された。

(5) 平成 22 年度奨励賞関連報告

- ・奨励賞の 2 名が決定し, 2010 年 11 月 10 日(水) に授賞式・昼食会を行うと説明があった。

(6) 平成 22 年度論文賞関連報告

- ・2010 年 9 月 10 日(金) に締め切った段階で 8 件の応募があり、9 月最終週から審査に入ることが報告された。
- ・最終審査会は 11 月中旬に行われることが報告された。

(7) 特定準備金について

- ・日本光学会 60 周年記念事業、および ICO 2014 開催準備金についての説明がなされた。

3. 審議事項・その他

(1) 平成 23 年度予算案について

- ・2010 年 9 月 30 日(木) に応用物理学会に予算案を提出することが報告された。

(2) 次期幹事構成案および幹事候補者について

- ・23 年度の新任幹事候補者として、17 名(任期途中交代による 1 年任期の新幹事 1 名を含む)の紹介がなされた。
- ・「光学」第 39 巻第 11 号に候補者の名前を掲載し信任投票を行うことが報告、および承認された。

(3) 幹事の日本光学会入会について

- ・現行の規定では幹事全員が日本光学会会員であることの必要性は明記されておらず、非会員が幹事に任命された場合は、幹事長から入会を促すことで会員になってもらっている現状が報告された。
- ・幹事に任命された時点で全員日本光学会に入会してもらうように規定を変更することの可否を議論したが、意見の集約ができなかったため結論を保留し、今後も検討を続けることにした。

(4) 日本光学会事務室の移転計画について

- ・応用物理学会が来年 5 月から 7 月に移転予定であり、日本光学会事務室(資料室)も一緒に移転するよう打診されていることが説明された。日本光学会の事務室兼会議室も応用物理学会とともに同じ建物に移転することについて、全会一致で承認された。

(5) 国際協力からの報告事項

(5-1) OPJ への SPIE, OSA の協賛について

- ・招待講演の原稿依頼について、OSA 会長からは原稿を受け取り済みで、SPIE 会長からの原稿待ちであることが報告された。

(5-2) SPIE との MOU の更新について

- ・SPIE との MOU は現在 2 年更新になっているが、事務手続きを軽減するために 3 年更新にしたいとの議題であった。議論した結果、3 年更新にしてしまうと幹事が交代することで過去の経緯を把握しきれない事態が想定されるので、とりあえずは現行の 2 年更新を継続することが承認された。

(5-3) OPJ の英語の参加申込ページについて

- ・日本語版の日本語部分を英語に置き換える形で立ち上げたことが説明された。
- ・作成されたのは、英文トップページ、投稿ページとレジストレーションページの各ステップ、投稿と解説の PDF、抄録のフォーマット解説 PDF であることが報告された。

(6) ODF '10 横浜の収支報告

- ・ODF (2010. 4/19-21) について、赤字決済であったことが報告、承認された。

(7) 元日本光学会会員の故高野榮一氏からの寄付について

- ・経緯と寄付の内容について報告があった。日本光学会は法人格がないため、応用物理学会を通じて寄付を受けられることにしたとの説明があり、本幹事会において寄付受け入れを事後承認した。
- ・委員会を設けて高野氏のご遺志を生かすような使途計画を年末の応用物理学会理事会までに立案していく予定であることが説明された。
- ・本件については、今後「光学」に掲載予定であることが説明された。

(8) OPJ で使用している古い機器の修理費について

- ・修理費の計上が承認された。

平成 22 年度第 2 回常任幹事会

2010 年 11 月 30 日(火) に、応用物理学会会議室(九段下)において開催されました。第 191 回幹事会議事録の確認、「光学」関連報告、「OPTICAL REVIEW」関連報告、Optics & Photonics Japan 2010 (2010. 11/8-10) 結果報告、平成 22 年度名古屋講演会 (2010. 10/29) 結果報告、北陸信越講演会 (2010. 11/5) 結果報告、平成 22 年度北海道地区学術講演会 (2011. 1/7-8) 進捗報告、平成 22 年度関西講演会 (2011. 1/19) 進捗報告、第 37 回冬期講習会 (2011. 1/20-21) 進捗報告、第 44 回光学五学会関西支部連合講演会 (2011. 1/29) 進捗報告、第 6 回光応用新産業創出フォーラム (2011. 2/24) 進捗報告、第 36 回光学シンポジウム (2011. 7) 進捗報告、Optics & Photonics Japan 2011 (2011. 11/28-30) 進捗報告がなされました。また、協賛依頼について、会員動静について、収支計算書について、日本光学会ホームページについて、光学論文賞選考委員会報告、光みらい奨励金選考委員会報告、平成 23 年度幹事選挙結果報告、高野光科学基金規程(案)について審議および報告がなされました。詳しい幹事会議事録は第 40 巻第 3 号に掲載予定です。

第 252 回「光学」編集委員会

2010 年 11 月 5 日(金) に応用物理学会会議室において開催されました。今回は第 40 巻第 10 号の企画決定、第 40 巻第 11、12 号の第二次構想案、第 41 巻第 1、4 号の第一次構想案の審議、第 41 巻第 2、3 号の号担当の決定が行われました。第 41 巻第 4 号は研究動向を扱う進展号としての企画に加え、日本光学会 60 周年にかかる小特集を企画する方向性が議論されました。また、第 40 巻第 4 号の研究動向に関する執筆者への依頼状ほか資料一式の最終確認が行われました。その後、書評進捗状況についての報告、論文投稿・審査状況、各号の進捗状況、会計等の報告がなされました。さらに、次回編集委員会までの間に今年度退任予定の委員には別途新委員の推薦をお願いする旨の連絡がなされました。著作権に関しては日本光学会会員への周知記事を第 39 巻第 11 号に掲載するべく準備中であることが報告されました。

光設計研究グループ第 46 回研究会「デジタルカメラの最新光学技術」

日 時：2011 年 2 月 10 日(木) 13:00~17:10
場 所：日石横浜ホール大会議室(横浜市中区桜木町 1-1-8, JR 桜木町駅徒歩 5 分, パシフィコ横浜近く。
<http://www.nybldg.jp/hall/index.html>)
主 催：日本光学会光設計研究グループ
協 賛：(社)カメラ映像機器工業会(CIPA, CP+2011 主催団体)
プログラム：①「超高倍率ズームレンズの光学設計」伊藤大介(キヤノン), ②「新世代デジタル一眼用ニッコールレンズの光学設計」原田壮基(ニコン), ③「コンパクトデジタルカメラ用ズームレンズの光学設計(仮)」講演者調整中(オリンパスイメージング), ④「一眼カメラ用 3D 交換レンズの開発」山口伸二(パナソニック), ⑤「ソニーの裏面照射型 CMOS イメージセンサ“ExmorR”」山口圭治(ソニー), ⑥「撮像素子内蔵型位相差 AF」遠藤 宏(富士フィルム)
参加費：光設計研究グループ会員 4,000 円, 光設計研究グループ学生会員 無料, CIPA 会員企業 7,000 円, 一般 10,000 円, 学生一般 2,000 円。当日, 受付にてお支払いください。
定 員：110 名。定員超過が予想されますので, お早めにお申し込みください。
参加申込：氏名(フリガナ), 所属, 住所, 電話, Fax, E-mail, 参加区分(参加費参照), 懇親会(無料)参加

の有無を E-mail, Fax または郵送にて下記申込み先にお送りください。

申込先： コニカミノルタオプト光学事業本部第 3 開発部
古後将司
〒589-0021 大阪狭山市今熊 6-300
電話 072-367-3591 Fax 072-367-3361
E-mail: k46reg@opticsdesign.gr.jp
問合せ先： オリンパス光学技術部 植田博文
電話 042-691-7116 Fax 042-691-7573
E-mail: k46@opticsdesign.gr.jp
URL: <http://www.opticsdesign.gr.jp/>

第 7 回レーザーディスプレイ技術研究会「スマートレーザーディスプレイ—要素技術と TV への展開—」

日 時：2011 年 3 月 3 日(木) 13:00~17:00
場 所：東京大学生産技術研究所コンベンションホール
(〒153-8505 目黒区駒場 4-6-1, 京王井の頭線駒場東大前駅より徒歩 10 分, 小田急線東北沢駅より徒歩 10 分, 小田急線・地下鉄千代田線代々木上原駅より徒歩 15 分)
主 催：日本光学会レーザーディスプレイ技術研究グループ
協 賛：レーザー学会レーザーディスプレイ技術専門委員会, IDW LAD ワークショップ
後 援：オプトロニクス
プログラム：①「イントロダクトリートーク」山本和久(大阪大), ②「スペックルノイズ—基礎と低減法—」黒田和男(東京大), ③「GaN 半極性面を用いた緑色半導体レーザー」中村孝夫(住友電気), ④「Eu ドープ GaN 赤色発光素子とレーザーへの展望」藤原康文(大阪大), 休憩—「スペックル評価装置のデモ」久保田重夫(東京大), ⑤「体積 7 cc クラスの小型 RGB レーザーエンジン」越野彰規(Explay Japan), ⑥「高速・広角 MEMS 光スキャナーと走査・蛍光型レーザーテレビへの応用」朴 載赫・明渡純(産総研), ⑦「大画面高画質レーザーテレビ」桑田宗晴(三菱電機), ⑧「クロージングリマーク」黒田和男(東京大)
参加費：一般 4,000 円, 学生 1,000 円(税込)。当日会場にてお支払いください。領収書を発行いたします。終了後簡単な懇親会を予定しております(無料)。
参加申込：参加希望者は E-mail にて下記までお申し込みください。E-mail: yamamoto-k@ppc.osaka-u.ac.jp (山本和久:大阪大)
URL: <http://qopt.iis.u-tokyo.ac.jp/ldt/>

CP+ (シーピープラス) 2011 技術アカデミー

期 日： 2011 年 2 月 9 日(水)～2011 年 2 月 10 日(木)

全 3 セッション

場 所： パシフィコ横浜会議センター 503 会議室

主 催： (社)カメラ映像機器工業会

協 力： 日本光学会, (社)日本オプトメカトロニクス協会, (社)日本写真学会

プログラム (予定)：

- ・セッション①： 2 月 9 日(水) 15：00～17：50
「ハイスピード (静止画・動画) デジタルカメラの開発ポイントと今後の可能性」小野田孝 (カシオ計算機), 「DMC-GH2 における世界最速コントラスト AF 制御」澁野剛治 (パナソニック), 「中判デジタル一眼レフカメラの開発」平井 勇 (HOYA)
- ・セッション②： 2 月 10 日(木) 10：30～13：20
「フル HD デジタル一眼レフの動画機能について」久間賢治 (キヤノン), 「ピクトリアルプリンタの色再現技術と動向」枝常伊佐央 (セイコーエプソン), 「撮像素子内蔵型位相差 AF」遠藤 宏 (富士フイルム)
- ・セッション③： 2 月 10 日(木) 14：00～17：50
「マイクロフォーサーズ用小型レンズの開発」小岩井保 (オリンパスイメージング), 「3D スイングパノラマ機能に関して」加藤直哉 (ソニー), 「プロジェクター内蔵デジタルカメラ」相川敏哉 (ニコン), 「優れた描写力の 28 mm 単焦点カメラユニットと今後の展開」阪口知弘 (リコー)
講師は都合により変更になる場合があります。詳細は CP+ ホームページをご覧ください。

参加費： セッションごとに必要。セッション①：3,000 円 (3 講座 1 セット), セッション②：3,000 円 (3 講座 1 セット), セッション③：4,000 円 (4 講座 1 セット) (要旨集含む, 要 Web 事前登録)

定 員： 各セッション定員 200 名

申込方法： Web 事前登録 (<http://www.cpplus.jp> からお申込みください)

問合せ先： CP+事務局 電話 03-6741-4015 Fax 03-6741-4016

URL: <http://www.cpplus.jp/>

第 14 回光設計賞募集要項

日本光学会光設計研究グループでは, 光設計分野における技術交流・研究活性化を目的として, 下記の要領にて「第 14 回光設計賞」を実施します。光設計分野における研究・開発に携わる皆様からの積極的なご応募をお待ちして

おります。

1. 趣旨・目的

- ・「光設計」に関する成果を公開する場を設けることにより, 同分野の研究および技術の交流を活発に行う。
- ・「光設計」に関する優れた研究, 技術, 発明に授賞することにより, 同分野の研究推進・活性化に寄与する。

2. 応募要領

- ・技術領域：「光設計」に関する研究や技術発明を対象とします。対象となる技術分野は, レンズ設計・光学設計をはじめ光学系の加工・測定・評価, 光学設計ソフト等, 光学系・光学素子等の設計に関連する分野, また適用分野としては, 回折光学, 光記録, 軟 X 線光学, 光コンピューティング, 光集積回路, 補償光学, 非結像光学, 光学薄膜等の光学分野も含まれます。
- ・応募形式： 応募は自薦のみとします。推薦したいものがありましたら, 本人に応募を促してください。
- ・応募資格： 特にありませんが以下にご注意ください。(1) 筆頭受賞者で日本光学会員以外の方は受賞と同時に日本光学会員に入会いただきます。(2) 筆頭受賞者で光設計研究グループ会員以外の方は, 光設計研究グループに入会いただきます。後者に関しては, 受賞年度の年会費を免除いたします。
- ・募集の制約： 公開済み・未公開は問いません。公開済みの場合には公開されてから 5 年以内を目安とします (2006 年 11 月以降に公開されたもの)。公開形式と公開日は自己申告とし, 申告内容が確認できる資料を必ず添付して下さい。未公開の場合は必要であれば応募前に特許出願などを済ませておいてください。一人あたりの応募件数の制限はありません。
- ・応募用紙： ホームページ (<http://www.opticsdesign.gr.jp/>) より指定の書式の応募用紙をダウンロードし, 技術内容をご記入ください。応募用紙に記載された内容を元に審査を行いますので, 訴求したい点は必ず応募用紙にご記載ください。応募用紙のダウンロードができない場合等は下記までお問い合わせください。
- ・添付資料： 応募用紙記載の内容を確認するための資料です。応募用紙と合計で A4 用紙 20 枚以内となるように, 適宜縮小コピーやページの抜粋を行ってください。
- ・応募方法： 郵送でご応募願います。応募用紙および添付資料の印刷物 (A4 サイズ) 各 10 部を下記の宛先までお送りください。なお, 応募書類は返却できませんのでご了承ください。
- ・応募の宛先・問合せ先： 三菱電機(株) 先端技術総合

研究所映像入出力技術部 桑田宗晴 〒617-8550 長岡京市馬場岡所1番地

電話 075-958-3034 E-Mail: odp14@opticsdesign.gr.jp

・募集期間：2010年11月26日～2011年5月31日(必着)

3. 審査項目

「将来性」「実用性」「独創性」の3つの観点で審査します。

4. 表彰

・表彰の場：当研究グループの関係する会合にて発表・表彰を行う予定です。

・時期：2011年秋

・賞金：光設計大賞10万円(1件)、光設計優秀賞3万円(若干数)

5. その他：受賞者には光設計研究グループの研究会等にて口頭発表をお願いする可能性があることをご承知ください。

訂 正

「光学」第39巻第11号「近赤外分光画像でみる化粧品の保湿効果」(中村睦子・中内茂樹著)に誤記がありました。

下記のように訂正いたします。

p. 530 左段2行目

誤：波長域 I (1800～2500 nm)

→正：波長域 III (1800～2500 nm)

p. 530 左段9行目

誤：波長域 III (1800～2500 nm)

→正：波長域 I (800～1100 nm)

新入会員

個人会員

会 員 番 号	氏 名	所 属
A 6103902	森 孝司	(株)ニコン
B 39680	大登 正敬	富士電機ホールディングス(株)
41821	北村 道夫	シンテック(株)
80291	服部 健一	ソニー(株)
81893	李 雪峰	早稲田大学

ご逝去

ご逝去の訃音に接し、ここに謹んで哀悼の意を表します。

会員番号	会 員 名	所 属	死亡年月日
058558	戸井田 孝	大日本印刷(株)	2010年6月1日

日本光学会 news の掲載申込先：

〒305-8568 つくば市梅園1-1-1 中央第2 (独)産業技術総合研究所 光技術研究部門

森 雅彦 電話 029-861-5623 Fax 029-861-5627 E-mail: m.mori@aist.go.jp

なお、掲載申込は原則として発行日(10日)から2か月前の15日まで、開催日が1～10日の場合は、開催日の3か月前の15日までをお願いします。

掲載にあたっては、「日本光学会 news」および「光学関連会合予定」の掲載基準 (<http://annex.jsap.or.jp/OSJ/kogaku/news-keisai.html>) をご確認ください。

日本光学会平成22年度幹事(*常任幹事)

幹事長：	武田 光夫* (電通大)	
副幹事長：	加藤 純一* (理研)	谷田 純* (阪大)
前幹事長：	谷田貝豊彦 (宇都宮大)	
庶務幹事：	佐々木雄三* (NTTアドバンステクノロジー)	橋本 信幸* (シチズンホールディングス)
	向井 香織* (ニコン)	森 雅彦* (産総研)
	上窪 淳二* (HOYA)	駒井 友紀* (日本女子大)
	松田 二郎* (富士ゼロックス)	宮武 直樹* (リコー)
『光学』編集幹事：	相津 佳永* (室蘭工大)	鈴木 裕之 (東工大)
『Optical Review』編集・出版幹事：	植田 憲一* (電通大)	中楯 末三* (東京工芸大)
国際協力幹事：	西村 吾朗 (北大)	成瀬 誠 (情報通信研究機構)
産学協力幹事：	石樽 崇明 (慶應義塾大)	長嶋 千恵 (豊田中研)
将来問題担当幹事：	佐藤 学 (山形大)	駒井 友紀 (日本女子大)
電子化担当幹事：	松坂 慶二 (コニカミノルタオプト)	田中 哲 (防衛大)
事業・企画担当幹事：	岡野 英明 (東芝)	杉浦 忠男 (奈良先端大)
	忠永 修 (NTT)	辻 俊彦 (キヤノン)
	豊田 光紀 (東北大)	庭山 雅嗣 (静岡大)
	南 功治 (シャープ)	山本 裕紹 (徳島大)
	湯浅 友典 (室蘭工大)	吉澤 達也 (金沢工大)
	栗辻 安浩 (京都工芸繊維大)	大平 泰生 (新潟大)
	岸本 康 (凸版印刷)	小灘 毅 (オリンパス)
	小西 直樹 (九州工大)	式井 慎一 (パナソニック)
	中嶋 芳雄 (富山大)	中野 貴敬 (三菱電機)
	日坂 真樹 (大阪電通大)	尾藤 洋一 (産総研)
